熊本高等専門学校

数理・データサイエンス・AI教育プログラム

令和7年度　自己点検・評価結果

評価日時：　令和8年9月25日

会議名称：　点検評価室会議

開催場所：　熊本高等専門学校

目　　的：　熊本高等専門学校　数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）の自己点検評価

評価項目：　文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（リテラシーレベル）」の審査項目の観点による評価

自己点検・評価の視点	自己評価	評価の理由
学内からの視点：プログラムの学修成果、学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	A	全ての科目において、受講している学生が単位を取得しているため、理解できていると評価する。
学外からの視点：教育プログラム修了者の進路、産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	A	本プログラムを修了した学生のおおむね全員の進路が決定している。 令和5年に実施した産業界へのアンケートにより本校の教育への高い期待がわかる。またアンケートの意見に基づきカリキュラムの更なる改善を進めている。
数理・データサイエンス・ＡＩを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	A	年度初めに教務委員会が主体となって対象となる学生に対してMDASHの説明を実施し、学生の質問を受け付けている。また、授業評価アンケートより関連科目に熱心に取り組んでおり、意義を理解していると考えられる。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	A	シラバスの目的・到達目標、教育方法等、授業計画などについて、継続的に点検をしている。

評価基準　A：十分満足している。B：満足している。C：改善を要する。